

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業改良普及費

事業名 普及推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業経営課 普及企画係 電話番号：058-272-1111 (内 2844)

E-mail: c11419@pref.lg.jp

1 事業費 3,891千円 (前年度予算額：3,891千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,891	0	0	0	0	0	0	0	3,891
要求額	3,891	0	0	0	0	0	0	0	3,891
決定額	3,891	0	0	0	0	0	0	0	3,891

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

農業所得の減少、食料安定供給の確保、食品の安全性の向上等の課題に対応するため、農林事務所、農業経営課に普及指導員を配置し、直接農業者と接することで、県農政の推進方向に即した普及活動を展開する。

(2) 事業内容

i 県独自研修

県独自の普及指導課題に的確に対応するため、専門力を高める研修を実施

ii 新規就農者から認定農業者への育成

農林事務所に配置する就農相談員がコーディネートし、新規認定を推進することにより、各産地における中堅農業者を確保

iii 普及指導員調査研究活動

農業・農村において、各々が能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現するため、女性を対象としたフォーラムを開催するほか、若手女性農業者等を対象とした研修会を実施

(3) 県負担・補助率の考え方

農業・農村における女性の活躍推進には普及指導員の活動が必要であり、県が費用を負担し事業を推進する。

(4) 類似事業の有無

有 普及指導員活動費

普及指導員活動費は、国庫補助金と県費を財源とし、国が示す「協同農業普及事業の運営に関する指針」に沿って、食料自給率の向上や持続的な農業生産等の取組等の推進、調査研究や国の研修による資質向上を図る。

一方、普及推進事業費は、県主体の普及指導員研修、女性の活躍推進など県農政の推進に向けた普及指導活動を展開する。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	333	研修講師謝礼等
旅費	2,011	研修旅費、講師費用弁償等
需用費	870	研修に係る消耗品等
役務費	327	電話通信運搬費
委託料	230	研修講師委託業務、託児委託等
使用料	40	研修会に係る会場使用料
負担金	80	外部団体等実施研修等の参加に係る負担金
合計	3,891	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想、ぎふ農業・農村基本計画

(2) 国・他県の状況

農業改良助長法に基づき、全ての都道府県が普及指導員を配置し、協同農業普及事業を展開している。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県施策の推進にあたって、高度な専門技術を要する普及指導員を確保するため、普及指導員の資質向上を図ります。
 結果、普及指導員の活動を通じて、多様な担い手づくりや売れるブランドづくりなど県施策の推進や男女共同参画などを推進します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前年度末時点）</small>	目 標	達成率
新たに認定する 認定農業者	(R2)	— (—)	— (—)	(R2)	(R7)	—% (—時点)

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

- ・就農相談員（普及指導員）の設置 10名（各農林事務所1名）
- ・ぎふ農業女性次世代リーダー育成塾 2回
- ・男女共同参画プラン推進会議の開催
- ・起業化促進研修 2回
- ・農業女性地域研修事業
 （若い農業女性研修 3回／農村女性出張講座 3回）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

- ・若い農業後継者の育成や農山村における男女共同参画を推進するとともに、県独自の研修を通じて普及指導員の技術力や指導力が向上した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	